

# 事務事業外部評価一覧

## 1. 対象事務事業名

施策	防犯・交通安全対策の推進		
事務事業名	防犯灯整備事業	担当	生活環境課生活安全班

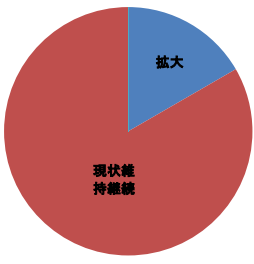
## 2. 内部評価結果(担当部署の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	市民の防犯意識を更に高めることにより、少子高齢化社会においても安全・安心な生活を営むことが可能となるので、今後も適切な事業推進に努めたい。

## 3. 外部評価結果(行政改革推進委員会の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	安全・安心なまちづくりに欠かせない事業である。防犯対策や交通事故防止を図るためにも、引き続き、きめ細かな現地調査を行いながらLED防犯灯への計画的な更新をお願いしたい。

## 4. 各委員の評価結果の集計

方向性の集計結果			評価の視点の集計結果							
			①市の関与度		②施策への貢献度		③効率性		④内部評価の妥当性	
	拡大	3/18	市が行うべき	17/18	高い	18/18	効率的である	16/18	妥当である	18/18
	現状維持継続	15/18	民間等へ移行	1/18	低い	0/18	効率的ではない	2/18	妥当とはいえない	0/18
	事務事業改善	0/18	判定困難	0/18	判定困難	0/18	判定困難	0/18	判定困難	0/18
	縮小・終期設定	0/18								
	休止・廃止	0/18								

## 5. その他評価コメント等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯対策や事故防止は今後ますます充実しなければならない。</li> <li>・現状を調査し古いものから交換し適正に対処してほしい。</li> <li>・通学路や主幹道路が優先になるとのことだが、帰宅が遅くなる社会人や危険な場所にも配慮した街灯の新設が必要ではないかと思う。</li> <li>・自治会への新設補助は2分の1となっているが、生活環境課の説明では、現場主義で自治会と相談の上、防犯灯を設置するとの回答であり、非常に柔軟性のある対応だと思う。</li> <li>・公共性、安全・安心の防犯性の高い事業であることから、2分の1補助ではなく、各自治会と相談し、申し込み多数の場合は年次計画で全額市の対応としてはどうか。</li> <li>・イニシャルコスト(初期経費)だけでなく、ライフサイクルコスト(取得から維持・管理、破棄に必要な経費)を考慮して計画されているようなので、LED交換は継続することが妥当と考える。</li> <li>・もう少しきめ細かな調査の事業実施が必要である。電気料金の現状と今後の見通しの議論があっても良かったのではないか。</li> <li>・成果指標に交通事故発生件数を取り上げると、夜間のデータかと問題視される。</li> <li>・具体的根拠はないが、当市は街路灯が少ない感がある。防犯・事故の観点からも継続的に行っていただきたい。</li> </ul>
---

### 1. 対象事務事業名

施策	快適な都市環境の整備		
事務事業名	潟上市リフォーム補助金	担当	都市建設課都市計画班

### 2. 内部評価結果(担当部署の評価)

方向性	主な評価コメント等
事務事業改善	H22～25までの実績を見ると約2億1千万円の補助金で27億7千万円の工事費が市内で消費されており経済効果の非常に大きな事業であり、市民のニーズにも十分にこたえていると捉えている。利用件数は年々低下してきているが、H25年度においても353件ありまだまだ需要はあるものと考えられる。現在は県と相乗りにより大きな成果を上げている面もあり、今後、県が本事業を取り止める様になったときの市の対応を考えていく必要がある。

### 3. 外部評価結果(行政改革推進委員会の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	経済波及効果は十分であるが、単価等、申請内容のチェックを引き続き行ってほしい。今後の景気動向によっては、補助率の見直しや、移住促進や定住に結びつくような補助条件への変更、また、将来的には事業の縮小や終期設定を検討してほしい。

### 4. 各委員の評価結果の集計

方向性の集計結果			評価の視点の集計結果							
			①市の関与度		②施策への貢献度		③効率性		④内部評価の妥当性	
	拡大	0/18	市が行うべき	18/18	高い	17/18	効率的である	16/18	妥当である	15/18
	現状維持継続	11/18	民間等へ移行	0/18	低い	0/18	効率的ではない	0/18	妥当とはいえない	1/18
	事務事業改善	7/18	判定困難	0/18	判定困難	1/18	判定困難	2/18	判定困難	2/18
	縮小・終期設定	0/18								
	休止・廃止	0/18								

### 5. その他評価コメント等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・県が補助金を打ち切った場合に、市の補助金を増額することは厳しいと思うが、今後も補助金制度を継続していただき、快適な暮らしの援助と、増税に伴う家計負担の軽減に努めてもらいたい。</li> <li>・利用者に不利益が生じないよう申請書等のチェックをしっかりとしてほしい。</li> <li>・予算に応じて、上限額の見直しを検討しては。</li> <li>・単価等無駄がないか、申請内容のチェックのあり方に検討が必要と思われる。</li> <li>・業者の方は大変喜んでいるようだが、一方で、見積り金額に疑問を感じる申請者もいるようである。</li> <li>・事業費の削減余地の項目で「県に併せ市でも上限を5万円減らすことは考えられる」とあるが、経済効果が非常に大きく活性化が図られている現状や、資材高騰等もあり、削減する余地があるのか疑問に思う。</li> <li>・当該事業を県がやめた場合の対応を検討する必要がある。(潟上市もやめるのか(必要性)、県の分を増額するのか(負担増))</li> <li>・県と合わせた限度額35万を減額すると不公平感が生じる。受注業者を市内に限定することで経済効果が発揮されるが、人員・資材の調達等を調査し波及効果を確認したら如何か。</li> <li>・県との連携により経済効果等が期待できるが、特定の事業であり、補助金等の見直し検討を。</li> <li>・今後の利用状況を見ながら段階的に縮小していくのが妥当と考える。</li> </ul>
---

### 1. 対象事務事業名

施策	健康づくりの推進		
事務事業名	成人保健事業	担当	健康推進課健康指導班

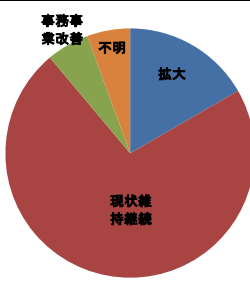
### 2. 内部評価結果(担当部署の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	特定健診、がん検診受診率の向上が課題となっていることから、全世帯に「検診意向調査」を実施しました。回収率71%と高率であり、この結果を基にコールリコール事業と秋の集団検診等を展開し、検診受診率の向上を目指します。また、健診で異常が見つかった人に対しては受診勧奨を含め保健師・栄養士が訪問活動を拡充します。

### 3. 外部評価結果(行政改革推進委員会の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	リコール事業や受診勧奨等の事業の増加により保健師・栄養士の業務量も増加しているが、検診意向調査の結果を活用して、今後も事業の継続をお願いしたい。また、受診者が受診しやすいような環境づくりを常に心掛けてほしい。

### 4. 各委員の評価結果の集計

方向性の集計結果			評価の視点の集計結果							
			①市の関与度		②施策への貢献度		③効率性		④内部評価の妥当性	
	拡大	3/18	市が行うべき	17/18	高い	16/18	効率的である	16/18	妥当である	18/18
	現状維持継続	13/18	民間等へ移行	0/18	低い	1/18	効率的ではない	1/18	妥当とはいえない	0/18
	事務事業改善	1/18	判定困難	1/18	判定困難	1/18	判定困難	1/18	判定困難	0/18
	縮小・終期設定	0/18								
	休止・廃止	0/18								
	不明	1/18								

### 5. その他評価コメント等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診(健康診断)と検診(検査診断)が紛らわしい。</li> <li>・成果の向上余地をさらに高めて、成人病等の抑制につなげてほしい。</li> <li>・今後も30歳以上の人口増が続くことから、胃がん検診受診率を向上させるため、受診勧奨方法として、訪問活動を拡充するほかに、他自治体が先月連携締結した例にある、受診者にメリットを与えられる「健康応援プラン」の制度化などを検討してはどうか。</li> <li>・受診者が受診しやすいよう常に心掛けてほしい。自己負担額はもう少し増やしてもよいと感じる。</li> <li>・検診意向調査の結果を活かして、受診率向上を目指してほしい。</li> <li>・健康教室・訪問指導・健診で異常者への受診勧奨・複雑な事務量等の業務量が増大していると思われるので、保健師等の人員増が必要と思われる。</li> <li>・特定健診、胃がん検診受診率向上への工夫を。</li> </ul>
---

### 1. 対象事務事業名

施策	農業の振興		
事務事業名	潟上農業生産力向上事業費補助金	担当	産業課農政班

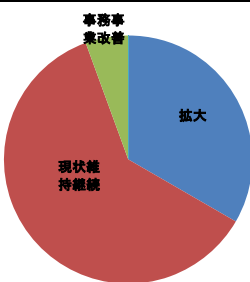
### 2. 内部評価結果(担当部署の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	ネギ栽培農家が拡大するとともにネギ専用機械の導入により労働力も省力化されている。また花き栽培面積も少しずつ拡大している。今後は、食菜館くらやブルーメッセを核とした農産物の生産・加工・販売等6次産業化に向けた取り組みを支援する。

### 3. 外部評価結果(行政改革推進委員会の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	潟上市の農業活性化のためにも、事業継続が望ましい。ただし、補助金利用後の実態を把握するための調査や、補助金を利用した農家の収益が上がるような指導等が重要である。将来的に一定の効果が浸透した際には、事業の縮小や終期設定の検討も必要と思われる。

### 4. 各委員の評価結果の集計

方向性の集計結果			評価の視点の集計結果							
			①市の関与度		②施策への貢献度		③効率性		④内部評価の妥当性	
	拡大	6/18	市が行うべき	18/18	高い	17/18	効率的である	16/18	妥当である	16/18
	現状維持継続	11/18	民間等へ移行	0/18	低い	0/18	効率的ではない	0/18	妥当とはいえない	0/18
	事務事業改善	1/18	判定困難	0/18	判定困難	1/18	判定困難	2/18	判定困難	2/18
	縮小・終期設定	0/18								
	休止・廃止	0/18								

### 5. その他評価コメント等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助した後のトレース(過程を追跡し、調べること)が必要である。</li> <li>・国や県の補助金では、導入した機械・分野でどの程度売り上げが出たのか毎年報告義務がある。設備の導入数ではなく、生産高も成果指標にしてはどうか。</li> <li>・畑作物の生産拡大を図り、直売所の充実に取り組んでほしい。</li> <li>・稲作偏重からの脱却は、本市においても喫緊の課題である。事業の周知をして補助金利用者増を図ってはどうか。</li> <li>・事業拡大により、農業者が複合経営によって得られた様々なノウハウを、6次産業化に応用できないだろうか。活動にアドバイザー業務を加えた場合、新たな農業戦略が生まれるかもしれない。</li> <li>・野菜・花きは販売目的であれば、どの品種でもよいとのことだが、市としてある程度の方向性や要望があってもよいのではと思う。40%の補助は少なくないと思う。</li> <li>・今後も複合経営を目指す農家が増えると予想されるので、引き続き市の支援をお願いしたい。</li> <li>・今後6次産業化に向けた取組を支援すると云うことだが、具体的な説明が欲しかった。</li> <li>・農業政策の転換期であるが、農業活性化のため、継続してほしい。</li> <li>・農業作物、販売数の増加や加工品の販売等は、市や市民にとってもプラスに寄与するものである、対象活動内容の拡大も含め検討願いたい。</li> </ul>
--

### 1. 対象事務事業名

施策	子育て支援・幼児教育の推進		
事務事業名	地域子育て支援拠点事業	担当	幼児教育課幼児教育班

### 2. 内部評価結果(担当部署の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	平成25年度には、出戸子育て支援センターを開設して、子育ての相談による育児不安の解消、地域での子育てに対する支援策の推進など、地域全体で子育てを支援する拠点の整備と、支援機能の充実を図っている。子ども・子育て新制度では新たに利用者支援事業が導入されることから、引き続き子育て相談機関、子育て支援者や育児サークル等との連携、情報提供の実施等、地域の子育て力向上の支援を行うため職員の専門性を生かした事業の取り組みが必要である。

### 3. 外部評価結果(行政改革推進委員会の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	類似事業との連携が可能ならば、さらに充実した活動ができると思う。他機関との連携を密にして、専門員の配置や子育て情報の提供など、不安なく子育てのできる環境を整備し、必要な人が支援を受けられるように事業を継続してほしい。

### 4. 各委員の評価結果の集計

方向性の集計結果			評価の視点の集計結果							
			①市の関与度		②施策への貢献度		③効率性		④内部評価の妥当性	
	拡大	1/18	市が行うべき	16/18	高い	17/18	効率的である	15/18	妥当である	16/18
	現状維持継続	15/18	民間等へ移行	1/18	低い	0/18	効率的ではない	0/18	妥当とはいえない	0/18
	事務事業改善	1/18	判定困難	1/18	判定困難	1/18	判定困難	3/18	判定困難	2/18
	縮小・終期設定	0/18								
	休止・廃止	0/18								
	不明	1/18								

### 5. その他評価コメント等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安なく子育てのできる環境を整備(専門員の配置など)に引き続き取り組んでほしい。</li> <li>・類似事業との連携は可能とのことで、少し説明が欲しかった。</li> <li>・「類似事業あり」と評価しているので、今後各専門性を生かして連携を深めるには、広報活動を今以上に展開していただきたい。孤独育児家庭の減少を目指して、子育て支援を推進していただきたい。</li> <li>・他機関との連携を密にして、事業を継続してほしい。</li> <li>・本当に支援を必要とする人が、支援を受けることができるよう接触方法の工夫や、情報収集等、大切だと思う。</li> </ul>
---

### 1. 対象事務事業名

施策	学校教育の充実		
事務事業名	学校サポーター事業	担当	学校教育課学校教育班

### 2. 内部評価結果(担当部署の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	学校教育活動における言語活動の充実が求められる中、学校図書館の機能を充実させ、図書資料など多様な教材を活用した授業を行うことが重要であるため、教職員の教材づくり、資料収集を支援・助言するサポーターの活用は、今後、ますます必要度が増すものと想定される。

### 3. 外部評価結果(行政改革推進委員会の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	多忙な先生方の補完的・相談的立場を担うなど教育の根幹に寄与することから、今後も事業の継続が望ましい。学校間で等しくサポーターを活用することで、よりいっそうの学習効果の向上に期待する。

### 4. 各委員の評価結果の集計

方向性の集計結果	評価の視点の集計結果										
			①市の関与度		②施策への貢献度		③効率性		④内部評価の妥当性		
	拡大	2/18	市が行うべき	15/18	高い	16/18	効率的である	16/18	妥当である	16/18	
	現状維持継続	14/18	民間等へ移行	2/18	低い	0/18	効率的ではない	0/18	妥当とはいえない	0/18	
	事務事業改善	1/18	判定困難	1/18	判定困難	2/18	判定困難	2/18	判定困難	2/18	
	縮小・終期設定	0/18									
	休止・廃止	0/18									
	不明	1/18									

### 5. その他評価コメント等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・1校あたりの図書館利用人数が、24年度と比較して倍増しているため、事業効果が上がっている。今後も学校図書館支援員・司書教諭等との連携を深めて、未来の市民づくり(人材づくり)のため子どもたちに暖かく接してほしいと思う。</li> <li>・単価を見直して引き下げたと云うことだが、サポーターの負担割合、教育の根幹をなす貢献度を考慮すると報酬が安い感じがしない訳でもない。</li> <li>・児童生徒の自立支援事業であり、事業の継続が望ましい。</li> </ul>
--

### 1. 対象事務事業名

施策	地域情報化の推進		
事務事業名	証明書自動交付機の運用	担当	市民課市民班

### 2. 内部評価結果(担当部署の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	マイナンバー制の導入時に自動交付機の改修も必要になることから、コンビニ交付等の検討も含めて、自動交付機のあり方を検討していく。

### 3. 外部評価結果(行政改革推進委員会の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	自動交付機1台当たりの発行数が少ないので、費用対効果を考えた場合、自動交付機利用回数の増加策として、住基カード所有率向上のための普及活動などをする必要がある。また、自動交付機の手数料を見直すといった利用を促進する手立てを講じる必要もあるのではないかと。

### 4. 各委員の評価結果の集計

方向性の集計結果			評価の視点の集計結果							
			①市の関与度		②施策への貢献度		③効率性		④内部評価の妥当性	
	拡大	2/18	市が行うべき	16/18	高い	14/18	効率的である	14/18	妥当である	13/18
	現状維持継続	12/18	民間等へ移行	1/18	低い	2/18	効率的ではない	4/18	妥当とはいえない	5/18
	事務事業改善	4/18	判定困難	1/18	判定困難	2/18	判定困難	0/18	判定困難	0/18
	縮小・終期設定	0/18								
	休止・廃止	0/18								

### 5. その他評価コメント等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外と時間内の発行数が分かると、効果がより鮮明になる。活動指標の住基カード所有者数が目標設定に馴染まない理由が分からない。</li> <li>・住基カードの発行が年々増加しているものの、自動交付機のPRが十分と言えないのではと感じる。新庁舎にも設置することであり、これを契機として、PR活動の一層の充実を図ることによって、利用者の利便性と事務軽減はさらに進むものとする。</li> <li>・費用対効果を考えた場合、利用促進が必要と思われる。</li> <li>・住基カードの目標設定はなじまないとのことだが、証明書交付手数料を、窓口発行より安価(なはず)なので、市民への普及活動を拡大していく方がよいのではないかと。</li> <li>・利用促進を常に考えてほしい。</li> <li>・自動交付機の利用が拡大しており、交付機の設置場所等の検討を。</li> <li>・交付機の利用促進の手だてが必要。</li> </ul>
--

### 1. 対象事務事業名

施策	開かれた市政の推進		
事務事業名	広報誌の発行	担当	企画政策課広報統計班

### 2. 内部評価結果(担当部署の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	現在は各自治会に市から広報誌を世帯分届けて、各自治会で世帯へ配布する形をとっている。職員が自治会ごとに配布物をまとめる事務等を簡略化するため、直接全世帯に配布するような形(他市町村で実施しているようなポスティング等)も検討してもよいかもしれない。担当職員2人、臨時職員1人(平成26年より臨時職員2人)で広報・統計業務を行っており、年々業務量が増えて負担が大きくなっている状況である。

### 3. 外部評価結果(行政改革推進委員会の評価)

方向性	主な評価コメント等
現状維持継続	広報紙の発行は市が行うべきであり、いっそうの内容の充実を図ってほしい。また、経費削減のために、世帯への配布方法について検討してほしい。将来的には、市外への広報送料の有償化を検討する必要があるのではないかと。

### 4. 各委員の評価結果の集計

方向性の集計結果			評価の視点の集計結果							
			①市の関与度		②施策への貢献度		③効率性		④内部評価の妥当性	
	拡大	1/18	市が行うべき	18/18	高い	17/18	効率的である	16/18	妥当である	17/18
	現状維持継続	14/18	民間等へ移行	0/18	低い	0/18	効率的ではない	0/18	妥当とはいえない	0/18
	事務事業改善	2/18	判定困難	0/18	判定困難	1/18	判定困難	2/18	判定困難	1/18
	縮小・終期設定	0/18								
	休止・廃止	0/18								
	不明	1/18								

### 5. その他評価コメント等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・送付依頼については出来る限り応じるべきである。活動指標のホームページアクセス件数が目標設定に馴染まない理由が分からない。</li> <li>・市ホームページのアクセス数が上昇していることは評価される。アクセスログの取り方にもよるが、閲覧者層やアクセスが集中するページなどの分析により、どこに集中して注力したらよいか判明するので、お勧めしたい。CGIを導入することも省入力に役立つと思う。(※CGI…あらかじめ用意されたページを表示するだけでなく、訪問者が更新したり、訪問者のリクエストに応じて毎回違ったページを表示させる事もできる。)</li> <li>・市外の広報送付については、送料負担はしてもらいべき。見てもらうような紙面づくりのため常に創意工夫をしてほしい。</li> <li>・広報すべてに目を通すのは大変なので、もう少し工夫があってもよいのではと思う。</li> <li>・自治会による広報誌配布は、地域のコミュニケーションにつながるものであり、現状で継続。</li> <li>・コスト削減の観点から、若年層もしくは希望者には、ペーパーレス化も検討してはどうか。</li> </ul>
--